大仙市立西仙北中学校

羽ばたこう 立志の丘から

平成２９年度　学校通信

平成３０年２月１９日

No.３６

綱のばし・小綱付け、ボランティア活動「大綱案内人」

２月10日、「刈和野の大綱引き」当日は、１・２年生が、「ふるさと・キャリア教育」の一環として、綱のばしや小綱付けを体験学習しました。土曜日のお陰か、多くの人出があって賑わった厄年の方々の餅まきも楽しみました。雄綱雌綱ののばし方の違いやそれぞれの町内の秘伝の小綱付けも学んだようです。建元さんを始め地元の方々には、「中学生の協力がたいへんありがたい」と言っていただきました。

夕方、中学生ボランティアが作製した花火会場のミニかまくら100個や駅前通りに続くミニかまくらに灯りが点ると幻想的な世界が広がりました。

また、保護者のご理解のもと、有志によるＨＵＢスペースを拠点にした、「大綱案内人」のボランティア活動を行いました。大仙市教育委員会から提供いただいた「まるびちゃん中学生ボランティア活動中」ののぼり旗を掲げ、これまでのふるさと学習の成果や「マンガ　刈和野の綱引き物語」をもとに、大綱引きの歴史紹介や会場案内、休憩所としてのおもてなし等で生徒たちは活躍しました。

イングランドをはじめ外国から来た方々や神奈川県、茨城県、宮城県の方々にも利用していただき、温かいお茶や和栄堂さんとのコラボ和菓子等を提供して喜ばれました。また、今回、生徒会では、手作りの缶バッチや先輩がデザインしたキャラクタータオルをお土産に販売しましたが、その収益を大綱保存会に届ける予定でもあります。

サプライズとしては、老松市長、茂木市議会議長、佐藤副市長、吉川教育長が、ＨＵＢスペースにわざわざお出でくださるとともに、市長からは本校生徒の取組に対して激励の言葉もいただきました。たいへん光栄に思いました。ありがとうございました。

小綱付けのあたりから降り出した時ならぬ雨は、大綱引き終了まで降り続き、あいにくの天気となってしまいましたが、本校生徒は、最後までおもてなしの心、地域貢献の気概をもって活動しました。ちなみに四年ぶりに上町（二日町）が勝利しました。

西仙北支所や大綱保存会とタイアップした、こうした活動は、地域のよさを再認識するとともに、ふるさとの伝統や文化の継承者である自分たちという認識を深めてくれたように思います。また、物事は本番そのものが大事ではあるけれども、当日には見えないところでその本番を支えたり、それこそ祭りの後を締めくくったりしている沢山の方々がいることにも気付いた本校生徒だと思っております。地域活性化に貢献する本校生徒たちを、今まで同様応援くださるようお願いいたします。そして、こうした体験が一人一人のキャリアとして積み重ねられ、よりよい人生につながることを願うものです。

海外研修　校内報告会

２月９日に大仙市中学生海外派遣研修で、１月3日から11日までオーストラリアで研修した２年生の佐藤さんと金子さんが、１・２年生を対象に

研修の成果の報告会を行いました。

それぞれが個人テーマをもって研修してきましたが、佐藤さんは観光について、金子さんは水についてをテーマとしていました。ファームスティ等でホストファミリーにお世話になったことやオーストラリアの水事情、観光地、そして、英語による日常会話等について報告してくれました。

２月15日には、研修に参加した市内の中学生20名全員の報告会が、仙北ふれあい文化センターで、市教育委員会主催で行われました。本校の佐藤さんは司会進行も務めました。お疲れ様でした。

第2回学校評議員会

２月15日、平成29年度第２回学校評議員会を行いました。西仙北高校長小松様、西仙北中央公民館長小山田様、学識経験者真田様、学識経験者田村様の４名にご来校の上、授業参観をしていただくとともに、今年度の学校経営や学校評価等について説明を申し上げ、ご指導を賜りました。

授業参観は、３年生は英語科と社会科で、パラリンピック選手の佐藤さんやシリアの難民問題を取り上げた学習でした。２年生は理科と美術科で、電流の性質の実験やリレーアニメーションの制作でした。

１年生は社会科と数学科で、オセアニア州について、また、立体の表面積を求める学習でした。評議員の方々からは、「明るく、生徒と教員のコミュニケーションがとれている好ましい様子が見られた。考えさせる、また生徒に興味をもたせる指導が随所に見られた。扱った題材はインパクトがあり、中学生の学習内容に驚いた。生徒の内側にあるものの表現、個の才能を引き出す授業の継続に感動した。」等の感想をいただきました。

その後、地域連携や生徒の学力の状況、生徒指導について、また、生徒及び保護者並びに教職員の学校評価について７月と12月調査の比較等に基づき説明しました。

評議員の方々からは、特に、１・２年生の学力向上に取り組んでほしい旨の要望がありました。その方策の一つとして、１年生から３年生までの定期テスト等のファイル化と振り返りをすること、数学科や英語科に苦手意識があるようなので、生徒が達成感や成就感をもてる授業づくり、授業改善等の提言をいただきました。また、地域連携は十分進められており、卒業生も含め大綱引きの際に観光客への説明やおもてなしの姿が見られたことを話していただきました。ただし、本来の各教科等の授業と連携活動のバランスを考えた学校経営を考えるようにご指導をいただきました。

また、不登校生徒に対する事前の関わりやサインの見逃しがないようにすること、学校と保護者に取組の成果や課題意識のギャップをなくすために情報連携等をもっと図るようにすること等のご指導もいただきました。経営方針等については、教員はもちろんのこと、生徒自身にも目指す姿の共通理解を図って実践すること、西仙北地域は幼保・小・中・高が連携できる地域であるので子どもたちを一貫した方針で育ててほしいこと、地域活性化プロジェクトとして、この地域の最大の産業である農業を活用すること、インフルエンザ等に負けない体力・健康づくりに取り組んでほしいことなど、幅広い視点で、多くのご提言・ご示唆をいただきました。ご指導を生かせる学校経営等に取り組んでまいりたいと思います。評議員の皆様、お忙しい中、ありがとうございました。

スキー教室　in　協和

16日、1・2年生が協和スキー場でスキー教室をを行いました。雪国のよさを体験しようということで、天候も穏やかな中、一日十分楽しみました。当日は、沢山の保護者の皆様や西仙北スキークラブ、また、協和スキー学校の指導者の方々に丁寧に指導していただきました。ありがとうございました。